

大手水産会社、缶詰会社  
コンビニチェーンなども採用

# 熱履歴検査

その異物、本当に製造時混入したものでですか？

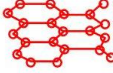


プラスチック・ゴム



人のつめ

従来の異物検査において、プラスチックや爪は、「それが何であるか」を調べるのみでした。このため、製造時混入ではない異物まで、製造側の責任とされていました。

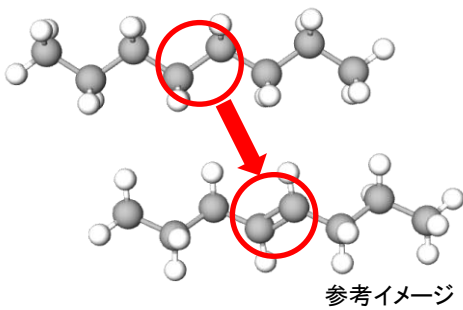
 **熱履歴検査** (商標登録出願中) は、異物が製造時の加熱を受けているかどうかを調べることで、“**製造時の混入かをはっきりさせる**”検査です。

詳しい情報などは裏面をチェック!!

独自技術と豊富な経験、国内最高精度の設備で、難しい事案にもチャレンジします



合同会社 **Fine Science Laboratory**



プラスチックや爪は、熱を受けると分子構造に目では見えない変化が生じます。

『熱履歴検査』はその僅かな変化をとらえることで、製造時などの加熱を受けているかどうかを独自の技術で判別します。

## 《こんなときに》

- ・ビニール片、歯科治療時の仮封材など、缶詰など加熱殺菌する食品に混入したとされる異物が、どうしても製造時の混入とは信じられない場合
- ・レトルト食品の腐敗クレームなど、正確に加熱殺菌できているかの確認に
- ・本来加熱されないはずのものが、加熱されているように感じたとき  
(例: コンビニ弁当に付属の醤油小袋が何故か破裂した事例など)

## 《注意事項》

- ① 消耗検査のため、微小の異物では検査が困難です。  
数ミリ角あれば可能ですが、状況により必要量が異なるため、あらかじめご相談ください。
- ② 調べたい加熱条件(温度と時間)を予めご指定ください  
基本的には製造時の加熱条件をご提示ください。  
プラスチックは70℃、爪は60℃程度から判別可能です。  
より低い温度や複数の熱条件がある場合はご相談ください。
- ③ 十分な大きさの試料でも検査が難しい場合があります  
プラスチックの中には材質や添加物の影響により、判別が難しい場合もあります。予めご了承ください。
- ④ 納期は3営業日程度ですが、状況や内容によって異なります。  
特に指定いただく加熱条件によっては時間がかかる場合があります。

<ご相談・ご依頼は>

『食品事業者のかかりつけ医』 独自技術と豊富な経験で御社の取り組みをサポート！



合同会社Fine Science Laboratory

☎0877-89-4194

✉ info@fine-science-lab.com

<https://www.fine-science-lab.com>